

【別紙】 評価項目・評点基準及び配点表

評価項目	評点基準	評価のポイント	配点	評価点					評価点	
				×1.0	×0.8	×0.6	×0.4	×0.2		
				特に優れている	優れている	普通	劣っている	極めて劣っている		
業務実施体制	(1) 本業務の目的や内容が適切に理解されているか。本業務への基本的な考え方、実施方針が示されているか。	・本業務への理解度 ・事業コンセプトの明解さ	20	20	16	12	8	4		
	(2) 経験や資格等を含めた人材、実施体制が業務遂行に適しているか（人員配置、業務実施体制の根拠など）	・実施体制の妥当性 ・実施体制の特徴性 ・資格内容と配置する資格者、業務実施内容との整合性	10	10	8	6	4	2		
	(3) 作業スケジュールは、実現性及び実効性のあるものになっているか。	・スケジュール内容の妥当性 ・スケジュール設定の確実性	10	10	8	6	4	2		
芽室町地域 マイクログリッド導入 ポテンシャル調査業務 提案書	設備・システム構成検討	(1) 導入可能性の有無調査に当たり、町が選定した施設の状況等を的確に理解・把握して分析等を行う考え方・手法が示されているか。	・本業務への理解度 ・施設の現状等の把握度 ・実施手法の具体性 ・特徴性	10	10	8	6	4	2	
		(2) 導入設備の負荷調査、種類、容量の検討を行うための手法が適切に示されているか。	・実施手法の具体性 ・実施手法の妥当性	10	10	8	6	4	2	
		(3) 導入設備の規模や配置予定地の状況等を的確に把握し、構成するシステムの検討を行う考え方・手法が示されているか。	・実施手法の具体性 ・実施手法の妥当性 ・災害時対応の具体性	10	10	8	6	4	2	
	マイクログリッド構築の実現可能性の評価	(4) 導入設備配置案・電力供給体制、事業案の検討手法が具体的かつ実現可能となる提案として見込める内容か。	・検討手法の具体性 ・特徴性 ・実現可能性 ・考え方の明解さ	10	10	8	6	4	2	
		(5) 平常時におけるエネルギー需給シミュレーションによるマイクログリッド電力需給量の算出方法が適切に示されているか。	・実施手法の具体性 ・実施手法の妥当性	10	10	8	6	4	2	
		(6) 災害時におけるエネルギー需給シミュレーションによるマイクログリッド電力需給量の算出方法が適切に示されているか。	・実施手法の具体性 ・実施手法の妥当性	10	10	8	6	4	2	
		(7) 事業性や環境性の推計を適切に行い、具体的かつ実現可能となる提案として見込める内容か。	・実施手法の具体性 ・実施手法の妥当性 ・特徴性 ・実現可能性 ・考え方の明解さ	10	10	8	6	4	2	
	基本計画案の検討	(8) 発電量、導入可能量、CO2削減量の試算を行うための手法が適切に示されているか。	・実施手法の具体性 ・実施手法の妥当性	10	10	8	6	4	2	
		(9) 導入に当たって生じる課題を把握するための検討手法が適切に示されているか。	・検討手法の具体性 ・検討手法の妥当性	10	10	8	6	4	2	
		(10) 事業化スケジュール案や基本計画案の作成が、区域施策を反映し、具体性や実現性のある内容として提案されているか。	・スケジュール等の具体性 ・スケジュール等の実現性 ・災害時対応の具体性	20	20	16	12	8	4	
企画提案	(1) 提案に当たり、工夫やアイデア、複数のエネルギー活用の検討など、独自や新たな視点からの提案が盛り込まれているか。	・特徴性 ・独創性 ・考え方等の明解さ ・提案内容の具体性	30	30	24	18	12	6		
委託事業費	(1) 事業実施に当たり、作業内容等を工夫し、事業コストの圧縮・削減を図りつつ、効率的かつ適正な費用積算を行っているか。	・積算内容の妥当性	20	20	16	12	8	4		

※1 配点は、委員1人あたりの持ち点数（委員1人あたり200点。委員合計1,200点）。

※2 評価点の合計得点が配点合計（200点）の60%以上、かつ各評価基準の評価点がすべて40%以上の参加者を候補者として選考対象とする。